



しきゆたか 速報



No.9

J A 福井県
福井基幹支店
多収米部会

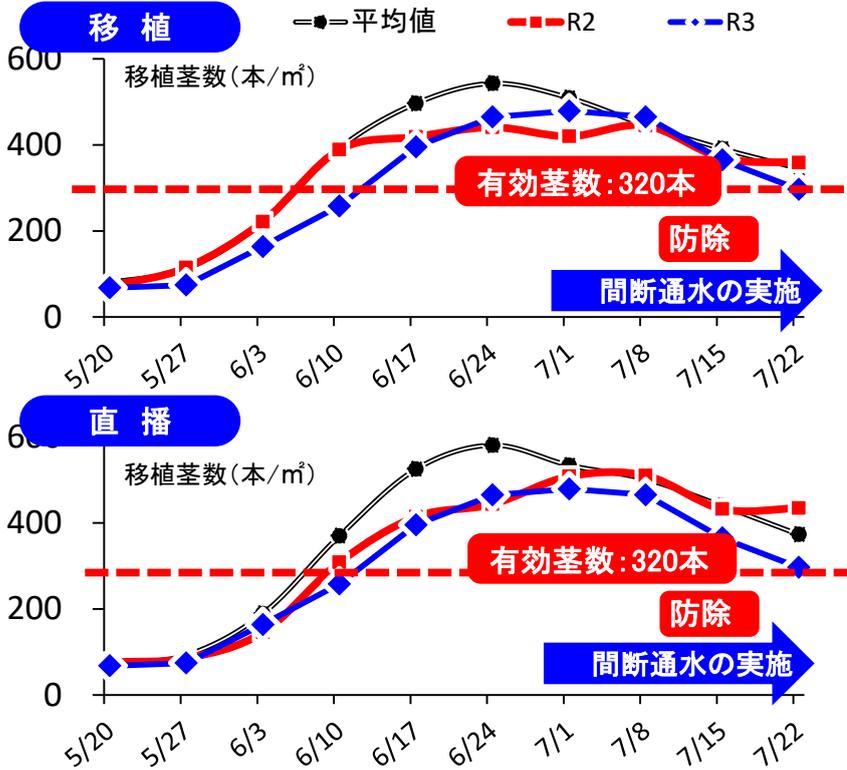
目標単収を適期管理で越えていく!!

● 病虫害防除の徹底!!

1. J A 生育調査状況 (7月21日現在)

栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 m ²	葉令	葉色
移植	R3	5月3日	95.6	296.6	11.9	4.5
	R2	5月1日	93.7	358.6	12.3	4.4
直播	R3	5月5日	93.0	433.4		4.4
	R2	5月2日	86.0	434.1	11.4	4.8

2. 茎数の推移と今後の管理



しきゆたかの管理

7月14日の梅雨明け以降、まとまった降雨がありません。気温も高く推移し、稲体の体力の消耗が懸念されます。圃場表面が乾くような水管理は避けて頂き、間断通水を継続し収穫直前まで若い稲体を維持しましょう。ニカメイチュウ・いもち病の発生が見られます。圃場によっては葉色の低下と病虫害の発生が見られます。生育状況と病虫害の発生を確認し的確な肥培管理をおこなしましょう。

移植

直播

移植: 出穂直前

直播: 幼穂形成期後半

- 穂肥 : 葉色4以下
アグリフラッシュ444: 7~15kg/10a
- 水管理 : 間断通水の実施
- 穂イモチ病 : ブラシン粉剤
(使用量: 3~4kg, 2回以内、収穫7日前)
- 穂イモチ・紋枯病・カメムシ類 : チームワーク粉剤
(使用量: 3~4kg, 2回以内、収穫7日前)
- ニカメイチュウ : パダン粒剤4
(使用量: 3~4kg, 6回以内、収穫30日前)

3. 多収米のポイント

● 強粒(大粒&多収)づくりの後半戦。本田での仕上げ管理。



★ 空散の登録の薬剤に関してはJAへ問い合わせください。

適期防除で、収量アップを目指しましょう。今週の多収米速報は『東部支店』が担当しました。



1. 2. 3.

4.

5.

6.



